

平成 2 5 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域おこし協力隊発 信州朝日イメージアップ作戦事業
事業主体 (連絡先)	朝日村 0263-99-2001
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1, 1 2 2, 7 5 3 円 (うち支援金: 8 4 2, 0 0 0 円)

事業内容

平成 2 4 年 7 月に、村で地域おこし協力隊を任命し、数々の事業に携わっていただきました。その中で、都会から朝日村へ来た者としての目線で朝日村には自然・文化・施設・イベントなど沢山の宝があると認識した反面、地域活性化に向け様々な課題があることがわかりました。

住民では気がつきにくい点を村としても受入れ、地域住民・地域おこし協力隊とともに、おもてなしの心を大切に、案内看板やラベンダー畑など、快適にお越しいただく環境を整備し村のイメージアップを図りました。



【ボランティアによるラベンダー畑整備作業】

※ 1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

- ・村に大勢の方が訪れることにより、観光や産業の活性化につながる。
- ・村民による「ボランティア意識」と「おもてなしの心」の醸成。
- ・イベント会場への交通案内の充実。

【目標・ねらい】

- ラベンダー畑や案内看板などを整備し、村のイメージアップを図る。
- 整備作業を通じてボランティア意識とおもてなしの心の醸成。
- 地域・観光・産業の活性化

※ 2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

今後の取り組み

- ・観光施設を訪れる方が通る幹線道路沿いにラベンダーの植栽があり、今後はそちらも整備し訪れた方をおもてなしする。
- ・新たにポスターやパンフレットを作成し、更にイメージアップを図り誘客向上に努める。

※ 1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※ 2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある